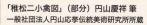
円山応挙生誕二九〇年を祝して

伝統美術を未来へつなぐ

お願 事業ご支援 円山慶祥・真祥の筆による ご寄付を募っておりま さらに永く後世に残す為の 新たな伝統美術作品を 亀居山大乗寺に寄贈 この度、円山応挙画系を継 二九〇年に当たります。 二〇二三年は円山応挙が生誕し ※詳細は裏面に記載しております のご協力を心より い 申し 御縁 上げます。 の深 のお 願





円山応挙 (1733~1795) … 円山応挙は江戸時代、丹波国桑田郡穴太村(現在の京都府亀岡市)に農家の次男として 生まれました。10代後半には京へ出て、狩野派の流れをくむ石田幽汀に入門します。その後、眼鏡絵などの制作にかか わることで西洋画の遠近法を取り入れ、対象を見たまま描く写生を重視しながらも、そこに情趣を加えることで、そ れまでになかった画風を確立し、近世の日本画に大きな影響を及ぼしました。

左画像:「円山応挙像」(部分) 山跡鶴嶺 筆 国井応祥 模 亀居山大乗寺所蔵